

J A R L

香川クラブ報

No. 332 平成15年12月15日



J A 5 Y D E

忘年会のご案内

2003年もまもなく終わろうとしています、皆さんこの一年はいかがでしたか？

先の衆議院議員選挙では変化を期待したのですが、保守党が自民党に吸収され結局は自民党の安定多数で選挙前と変わらないようです。一方、社民党や共産党の凋落は目を覆うばかりで、自民党・民主党の2大政党と言われながら実質は保守同士の政権争いで、今の日本はかつてない保守王国になっています。このままブレーキ役である革新政党が衰退すれば、生活や経済状態は勿論、外交問題などこの先日本はどうなるのでしょうか。

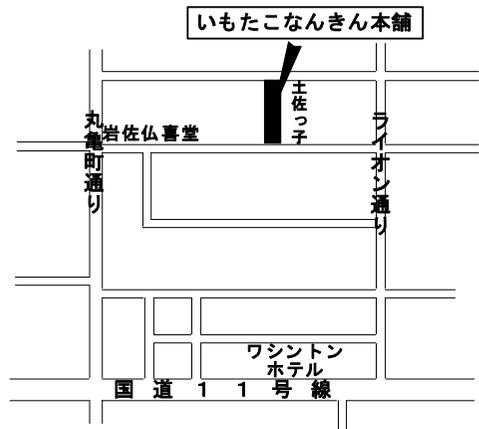
イラクでは相変わらず泥沼状態が続いており、ベトナムやアフガン以上の戦乱が続き、イラク国内にとどまらず世界のあちこちでテロが発生することが予想されます。テロに手段や道徳はなく、いつどこで自分が、家族が、知り合いがテロに巻き込まれるかとても不安になります。先日も日本の外交官2人が襲撃され亡くなりました。それでも、政府は自衛隊をイラクに治安維持、復興支援の名の下に送り込もうとしています。国際政治の駆け引き、北朝鮮による日本人拉致や核問題、アメリカへの防衛依存など日本の外交の兼ね合いもあり一概に判断はできませんが、国内がこの大不況の中イラク支援に多大な税金をつぎ込んでいるのですから、せめて人的被害がでないようにしてほしいのですが…。また、自衛隊の海外派兵をきっかけに平和憲法を次々と無理矢理ねじ曲げ、憲法改悪への道筋にしているのではないかと不安になります。

少し前に狂牛病が騒がれ、今年に入って新型肺炎、また最近では「鯉ヘルペス」などという病気が出てきています。従来病気やウイルスは医療の進歩で改善されてきている一方で、今までになかった病気や花粉症、アトピーなどという原因不明で治りにくい頑固な病気が次々と発生しています。環境破壊、大気や水質汚染、クローンや臓器移植、宇宙開発など、良きにつけ悪きにつけ「今まで神の領域であった所へ、人間が土足で踏み込んでいるからかなあ」と飛躍した考えが浮かびますが、皆さんはどう思いますか。

ところで、残すところも今年も後わずかとなりましたが、クラブとしてはボーリング大会を始め各種コンテストやARDFに積極的に参加し、実りの多い年でした。残る行事の忘年会ですが、ここしばらくは12月中旬頃の開催でしたが「以前は30日が定例だったし忘年会なのでなるべく下旬ではどうか」と言うことになり検討した結果、下記のとおりとなりました。年末のお忙しい時期ではありますが万障お繰り合わせの上、ご参加されますようご案内申し上げます。

記

日 時：12月27日(土)
19:00から
場 所：「いもたこなんきん本舗」
高松市古馬場7-10
(TEL:0120-168203)
会 費：男性 5,000円
女性 4,000円
申し込み：締め切り12月21日(日) 厳守
連絡先：JH5EZB
JE5PBO



冬のフィールドミーティング 信州スキーツアーのご案内

今年の始め、JF5ICA 向井さんや JI5VWA 大浦さん達と話がまとまり信州赤倉温泉までスキーに行きましたが「たいへん楽しく良かったので他にも参加したい方がいるのでは」と言うことで、今回は冬のフィールドミーティングとしてご案内いたします。

親睦を深め、楽しむことを第一としますので、初心者大歓迎です。初心者専門コーチ多数同行予定(コーチ本人達が初級者なので)。

また、家族やクラブ員外のお友達、知り合いの方も大勢で楽しみましょう。



記

日程 : 平成16年2月6日(金) または、2月13日(金) のどちらか
21時頃高松駅前集合

1泊4日(車中2泊)

1日目(金)	21時頃、高松駅前出発、	車中泊
2日目(土)	朝、現地到着後ホテルにて着替え、 夕方までスキー、夜は温泉と小宴会	ホテル泊
3日目(日)	昼過ぎまでスキー、夕方現地を出発、	車中泊
4日目(月)	早朝、高松駅前到着後解散	

行先 : 信州方面スキー場
(白馬、志賀高原、赤倉温泉、野沢温泉などのいずれか)

費用 : 全額個人負担
ツアー代(往復バス、宿泊1泊2食)、リフト代、用具レンタル代など
おおよそ、約3~4万円/人
他に別途、昼食代、夕食時飲物代、お土産代など

※ ツアー会社主催のバスツアーに申し込みますので、参加人数によっては希望通りにならないことがあります。

日程および行先については、参加希望の方々と調整をして決定したいと思います。

申込締切 12月27日まで
締切後にまとめて申し込みますが、その後に追加や変更ができることもあり
ますので、その後でも連絡ください。

参加申込先 JH5WMN 山口

クラブミーティングの報告

去る 11 月 12 日(水)に恒例のクラブミーティングが開催されました。

冒頭、天野会長のあいさつがあり、引き続き議題に入りました。

まず始めに、JARL 香川県支部主催の「香川マラソンコンテスト」の参加について検討され、例年のとおり「JA5YDE/5」として参加することに決定しました。



コンテストの日程と運用者は下記のとおりです。

次に忘年会について検討されました。

「ここ数年早い時期になっているので、今年は少し遅らそう」などの意見が出され 12 月 27 日になりました。その頃ならまだ消防の夜回りも始まっていないし、クリスマスも終わり落ち着いているということで決定しました。

詳細は今回号 1 ページに記載のとおりです。

3 番目に、以前から提案の出ていた冬のフィールドミーティングについて検討されました。今年の始めに有志で参加したスキーヤー(クラブ

報第 328 号 JI5VWA の記事参照)を参考にいろいろ意見も出されましたが、JH5WMN 山口 OM を幹事とし次回のクラブ報発行までに詳細を決定するということになりました。なお、その後検討していただいた結果、今回号 2 ページのとおりとなりました。

ミーティングの議題が終わり、天野会長から JA5AG 太田 OM 追悼集の配布先の説明や遺品の処分について説明がなされた後、遺族から「アンテナとケーブルの処分をお願いできないか」と相談されているとの報告がありました。JARL 香川県支部や電化センターさんとも相談してもらい、その結果次第で何とかしようということになりました。

続いて「JR5WL 城山ビークル」について相談があり、当クラブとしては「JR5VD 峰山ビークル」を管理している。「JR5WL」は中讃地区のクラブが管理しているし運営管理費の問題もあるので、今回依頼のあった管理費を最後に「JR5WL」からクラブとしては手を引くということで決定しました。だからと言って「JR5WL」の利用ができないとか、してはいけないということではありませんので誤解のないようにして下さい。おおいに利用することこそが発展・寄与になります。

最後に、サポート高松に非常用アマチュア無線アンテナとシャックの確保について経過説明がありました。「すでに、高松市長や市議会議長には趣旨を説明し感触は得ているが、事務折衝の段階でどうなるかまだ不明瞭なところもある」とのことです。また、設置するにしてもシボルタワーか新高松市民会館の屋上か？メンテナンスは？アンテナからシャックまでのケーブル長は？などの問題が山積みです。一クラブの問題だけでは済まないでしょうが、天野会長にかかる期待は大きいものがあります。会員の方も出来るだけの協力はしましょう。

後はいつものように雑談をして解散となり楽しい一時を過ごしました。残念ながら今回参加できなかった方も次回はぜひ参加していろいろ話をしましょう。

香川マラソンコンテスト運用計画

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
運用者	JA5TFJ	JI5XTP	JG50BX	JR5EHB	JF5ICA	JA5AHM	JH5LYW								

参加者：JA5AHM/JA5KZK/JA5TFJ/JH5LYW/JH5WMN/JR5EHB/JE5PBO/JF5ICA/JG50BX/JI5XTP

全日本 ARDF 競技と温泉三昧のみちのく旅行

JH5LYW 三好伸幸

1996年に開催された全日本 ARDF 競技大会が秋田県大館市で開催されて以来、久しぶりの秋田での大会。また参加できるとは思っていませんでしたが、健康で元気に参加できることに感謝しながら、今回は JA5UAA 岡田 OM・JA5UVT 詫間 OM 両ご夫妻と JF5MED 山田 OM の6名で参加することができました。JR を利用、伊丹空港から大館能代空港(秋田北空港)へと飛び、レンタカーで北秋田郡森吉町に向かいました。途中の街路樹のモミジは鮮やかな朱に染まり、視界に入る山々は一面が紅葉で一同感嘆の声が出ました。交通量が少なく、約1時間で大会会場の奥にある太平湖に到着。

遊覧船で向こう岸にわたり小又峡や三階滝を観光すべく案内所に行くと「今からだと遊覧しか出来ないのじゃないかな。後、1時間早ければ」と言われ、しぶしぶ諦めて水辺まで降りて散策と紅葉を楽しみました。

宿泊場である柚温泉<森吉山荘>まで引き返すと<白糸の滝>があり「大したこと無いかも知れないけど見てこようか」と徒歩で少し登ると轟音とどろく立派な滝が目の前に現れ「大したことあるじゃない」と一同わいわいがやがや。いよいよ山荘に到着すると、すでに常連の局も多数到着しており、あいさつを交わし「前夜祭の食事が少ないとひもじいから」と買い出しに行くことにしました。ところがどっこい付近には家もなければお店もない。車を走らすこと約20分、距離にして約22km。やっとコンビニを見つけてラーメンとビールのつまみを買った。皆同じような買い物。山荘に帰り「まずは温泉に入ろう」と着替えもそこそこに北国の温泉を堪能しました。ここから、今回の温泉三昧旅行のスタートです。



前夜祭会場に行くと、次々選手達が集まり瞬く間に満席となりました。テーブルには所狭しといろいろな料理が並べられ、中にはこちらでしか味わえないような物も並んでいます。さっき1時間もかけて買い物に行ったのは何だったのでしょか？

前夜祭では、まず恒例のレセプション。原 JARL 会長に始まり一通りあいさつがあり、いよいよ食事会です。和気藹々と前夜祭は進み、各局毎の紹介やら抱負やらが発表され楽しい時間はあっという間に過ぎ去り解散となりました。部屋に戻っても興奮冷めやらず、強者(酒が?)が集まる部屋へと移動。ARDF 談義に花が咲き、翌日のことも考えず酒類が次々と空いていました。外は夕方から降り出した雨足が一段と強くなり、不安を抱きながらまた温泉に浸かってから布団に潜り込みました。

隣のゴソゴソする音に目を覚ますと、昨夜フラフラだった JH5FUL 松浦 OM(愛媛県)が早くも起きて事前準備をしています。「さすが、日本を代表する人だけのことはあるなあ」と感心しました。雨は止んでおり露天風呂に浸かり昨夜の酒と寝汗を流し、競技用の服装に着替えて移動。森吉山麓高原で開会式がありスタート位置へバスで移動。天気が回復するにつけて寒さが増し、風が防いで日の当たる所でスタートを待ちました。

いよいよ、競技開始。まずは第2TXに向かい山を駆け登ると、以外に第1TXが近い。そのまま第1TXを目指せば良いものを何を思ったか一気に向こう側の谷へ下りて、第2TXを探索。これが以外に手強くなかなか見つけられない。やっと見つけて第1TXを目指すすと、やはり先ほどいた山の頂上付近。それでもまだ自分が信用できず道を引き返さ



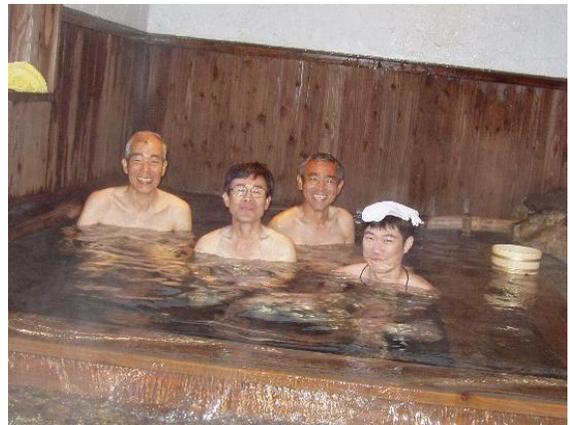
ず真っ直ぐ電波の方向へ。毎度お馴染みの藪漕ぎというやつで、背丈以上もある藪の中をがむしゃらに突き進み、やっと見つけたら案の定先ほどいたところからホンの数メートル下りたところ。正に「灯台下暗し」でした。情けないというか自分が馬鹿に思いました。時計を見るとすでに1時間20分が経過。これ以上探索に行っても、時間超

過で失格の確立が高いと判断しゴールすることにしました。

昼食は秋田名物きりたんぼ鍋と種類のおいしいお漬け物。あまり美味しかったのでお代わりしました。成績速報が張り出されだすと、山田 OM が「おかしいなあ、3つ見つけたのに2つになっている」とのこと。「調べてもらえば」と皆から言われ聞きに行きました。その間 JARL の記念局「8J7RDF」が出ているのでサービスしてもらったり、他エリアの各局と楽しい時間を過ごしました。山田 OM が帰ってきて「第2TX のパンチングが不十分で認められないと言われた」とのこと。最後の異議申し立てでも認められず、皆から「地方大会ならまだしも全国大会だから仕方ないよ」と慰められ泣く泣く諦めました。

さあ、メイン？である秋田観光の開始です。見事な紅葉の山間を走り麓への途中<第2森吉ダム>の建設現場があり、展望台で資料館を見学、巨大ダムの建設現場を見下ろし感嘆しました。周りの紅葉に一喜一憂しながら、田沢湖へと移動です。田沢湖と言えば田沢温泉もある観光名所。てっきり大きな旅館街かと思いきや数軒の旅館があるだけ。「関西、特に太平洋側と違うなあ」との印象でした。ここで、2つ目の温泉に浸かり美味しい料理をご馳走になり温かい布団で今日の出来事を忘れ去って爆睡しました。

朝起きて、露天温泉に浸かっていると男性が一人入ってきて田沢湖を見下ろしながら四方山話。聞くとプロの音楽家で[藪田憲一とデキシーキングス]のバンジョーという楽器を担当しているとのこと。(後で永生元伸という有名な方だと分かった)再会を誓ってお別れ(相手はもう忘れてるだろうけど)をし、朝食をすませ、今話題の乳頭温泉郷へと移動。まず、大釜湯(3つ目)で足湯を楽しみ、妙の湯へ。ここには金の湯(4つ目)銀の湯(5つ目)があり、温もる間もなく鶴の湯へ移動。この温泉は建物が古くが匂がただけで昔の湯治場の風情を保っています。ここには白湯や黒湯など4種類の温泉がありました。全部浸かってももう身体もホカホカ。温泉から出ても簡単に冷めません。「時間がないけど、もう一軒ぐらい寄る？」と聞いたら誰も「もういい」とのこと。それではとまた田沢湖に引き返すことにしました。田沢湖の周囲を回りながら湖と紅葉の山々のコントラストに目を見張りました。田沢湖畔の<たつこ像>を見て、角館町に移動し武家屋敷街を散策。代表的武家屋敷<青柳邸>を見学。昼は稲庭うどんを食べ秋田市内へ移動。駅前を通過し近くにある<久保田城址>から秋田市内を見下ろし、男鹿半島へと向かいました。東北の日が暮れるのは早く寒風山頂の展望台に着いたときは、すでに太



陽は水平線の向こう側へ。まだ明るさは残っていたものの見る見る暗くなります。半島を一周すべくしばらく走り、途中寄ったお店で「今から、半島一周は止めといた方がいいよ。引き返した方が賢明だよ」と秋田弁で親切丁寧に進められ、後ろ髪を引かれる思いでUターン。男鹿温泉郷へと移動しました。アドバイスのお陰で、予定より少し遅れて旅館に入れましたが、あのまま半島一周をしていたら何時になったやら。

10番目の温泉に浸かり、後は大宴会。寝る前に露天風呂に入り、朝起きてまた日本海を眺めながら露天風呂に浸かりました。朝食をすませ、まずは半島の先端<入道崎灯台>へ移動。日本海の絶景を眺めUターン。なまはげ館に行くも時間が早すぎて入館できず、入口に飾ってある<なまはげ>の前で記念撮影をして移動を開始。国道といえ対向もままならない道で、とうとう行く先が分からなくなり、迷っているところへ運良く宅配便の車が通りかかり道を聞いたのですが、これが生粋の東北弁。車を降りてまで説明してくれるのですが誰も理解できず、結局曖昧な返事をして別れました。取りあえずもう一本の道を走るとやっと国道標識があり何とかまともに走り出しました。



八郎潟の中央を走りながら田の広さに圧倒されました。高速道路にやっとのつたと思ったら数十メートルで料金所。「何じゃこりゃ」。そうですまだ先は工事中で完全に完成していないのです。工事で止められたりしながらそれでも数十キロ走り高速道路終点。「国道7号線を走るとどちらが早かったらどうか」と物議をかもしました。

順調に北へ走り、世界遺産である<白神山地>を右に見ながら、今回の最後の温泉地<黄金崎不老不死温泉>に到着しました。早速海岸にある露天風呂に向かいました。温泉に着くと同時に女の人がタオル一枚で前を隠し、混浴風呂から女性専用風呂の方へ走って出て来



るのにぶつかりそうになり慌てました。大きな自然岩をくりぬいた湯船には黄金色のお湯が一杯しており丁度良い温度。前は日本海が広がり、湯船から出て日本海に足をつけると何とも言えない気持ち良さでした。「本当にこれで不老不死になればいいね」と話しながら温泉を後にしました。最後の観光地である<十二湖>を散策をしました。なかでも<青湖>は、その名前のおり見事な青色をしており、自然の織りなす景色に目を奪われました。

さあ、もうあまり時間的余裕はありません。ひたすら南下し一路秋田空港へ移動。着くと同時に雨が降り出し一同胸を撫で下ろしました。

羽田を經由して高松に無事到着し、今回のみちのく旅行は終了しました。

今まで体験したことが無いほど温泉に浸かった他、今回もいろいろなことがありましたが楽しく旅行することができました。来年の全日本 ARDF 大会は岡山県の蒜山で開催される予定です。今回のような旅行はできないと思いますが、大会には参加したいと思っています。皆さんも近いのでぜひ一緒に参加しましょう。

ARDF大会参加報告

<全日本ARDF大会>

平成 15 年 10 月 26 日 北秋田郡森吉町

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	備考
OM	11 位	J F 5 M E D	1 時間 47 分 25 秒	2 個 (3)	
OT	23 位	J H 5 L Y W	1 時間 23 分 22 秒	2 個	

<中国地方ARDF大会>

平成 15 年 11 月 30 日 岡山市日応寺周辺

クラス	順位	コールサイン	所要時間	探索個数	備考
Y L	1 位	J F 5 I C B	1 時間 46 分 28 秒	3 個	前日の雨も止み、心配されたお天気も持ち直しFBな大会でした。来年の全日本大会の模範と位置づけられていました。3.5MHz 帯も同時に実施され、コースも変化に富んでおり、結構厳しいものでした。
	2 位	J G 5 T J J	1 時間 46 分 11 秒	2 個	
OM	1 位	J F 5 M E D	1 時間 45 分 19 秒	5 個	
O T	2 位	J F 5 I C A	1 時間 36 分 58 秒	3 個 (4)	
	3 位	J H 5 L Y W	1 時間 43 分 37 秒	3 個 (4)	
	4 位	J G 5 O B X	1 時間 29 分 09 秒	2 個	
	5 位	J I 5 X T P	1 時間 41 分 01 秒	2 個	

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

Eメール： J H 5 W M N
J H 5 L Y W

前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成 15 年度会費につきましても早急に納入をお願いします。

会報等印刷発送だけで会費の半分以上を使っています。会費が未納の方は納入してくれている会員の方に負担をかけています。ぜひよろしくをお願いします。

JARL香川クラブ報

発行責任者	J A 5 A H M	天 野 英 弘
編 集 者	J H 5 L Y W	三 好 伸 幸
	J H 5 W M N	山 口 博 司
	J E 5 P B O	岡 田 光